



オランダでのフィジオセラピストの仕事 3

# オランダ理学療法教育における「腰痛」 クリニカルリーズニングの進め方の実際

平出康彦

Thim van der Laan Hogeschool voor Fysiotherapie  
サッカークラブ「FC Utrecht Academy」メディカルスタッフ  
サッカークラブ「J-Dream FC」コーチング & メディカルスタッフ

Physiotherapists in Holland — 3

## Low Back Pain in Physiotherapy

Procedures of Clinical Reasoning

**HIRADE Yasuhiko**

Thim van der Laan Hogeschool voor Fysiotherapie  
Medical staff, FC Utrecht Academy  
Coaching&Medical staff, J-Dream FC

## 要約

今回は、オランダ理学療法教育における「腰痛」と題して、平出氏に実際に Thim van ser Laan 理学療法士養成校で行われている授業をもとに、腰痛におけるクリニカルリーズニングの進め方を解説していただいた。

豊富な資料のみならず、「評価プラン」の項では、評価方法をそれぞれ動画で紹介している。是非、ご一読いただき、参考にしていただきたい。

このアーティクルの著作権は著者と編集工房ソシエタスに帰属します。著作権の侵害にご注意ください。法で認められた引用については、下記のように記して下さい。

平出康彦：JWSM, Article No. JWSM2014.PT004

その他、このアーティクルに関する著作権についての問い合わせ先は下記にお願いします。

©2014 HIRADE Yasuhiko and Editorial Office Societas. All rights reserved.

Contact to the Author (s) and us info@mmssm.jp

# オランダ理学療法教育 における「腰痛」

## クリニカルリーズニングの進め方の実際

### 平出康彦

Thim van der Laan Hogeschool voor Fysiotherapie  
サッカークラブ「FC Utrecht Academy」メディカルスタッフ  
サッカークラブ「J-Dream FC」コーチング & メディカルスタッフ

## 1. はじめに

今回の記事では、オランダ理学療法教育における「腰痛」について、私が現在通っている Thim van der Laan 理学療法士養成校での授業の進め方や扱う技能、授業で教わるクリニカルリーズニングの進め方の実際などをご紹介します。

## 2. 腰痛について

### a) 世界の腰痛とオランダの腰痛

腰痛は今や全世界で多くの年代で起こりうる疾患とされており、先進国においては全人口の 60% から 70% が、人生で一度は腰痛を経験したことがあるとされています。

オランダでも腰痛はメジャーな疾患とされており、理学療法士の元を訪れる患者の約 4 分の 1 は

腰痛を訴えていると言われていま

### b) 特異性腰痛と非特異性腰痛

オランダでは腰痛は「A-specifiek lage rugpijn」と「Specifiek lage rugpijn」という 2 つに分類されます。

A-specifiek lage rugpijnとは、日本語に訳すと「非特異性腰痛」となります。定義はその腰痛の症状に対して明確な原因がないものを指します。

放散痛は殿部や大腿部まで起こることがあり、その痛みは特定の姿勢や動き、物を持ち上げて移動させることなどで誘発されます。そのほかに一般的な風邪などの病状、不自然な体重減少など重篤な疾患の兆候は認められないのが特徴です。

Specifiek lage rugpijn は、日本語にすると「特異性腰痛」となります。その特徴は、次の 2 つです。

- 1) 腰仙部の神経根症状：片脚に神経根痛を伴った特異性腰痛の形で、神経的欠陥を伴わないものの。
- 2) 重度の特殊な腰部疾患：その腰痛が、たとえば脊椎骨折、悪性腫瘍、すべり症や腰部脊柱管狭窄症、重度の分離症などの結果である可能性が考えられるものの。

## 3. ダイレクトアクセスについて

オランダでは、2006 年から「ダイレクトアクセス」という制度を適用しています。これは、従来の治療プロセスにスクリーニングのプロセスが加わったものです。

スクリーニングとは、医師の診断なしに訪れた患者を評価して、理学療法が適応かどうかを判断するプロセスです。この制度によって、患者は身体に異常を感じた際に、従来ならばホームドクターへ

かかり、その後、理学療法士のもとへ紹介状を書いてもらわなければならなかったものを、患者の判断で直接、理学療法士のもとを訪れることができるというものです。これによって、理学療法士にはダイレクトアクセスによって訪れた患者の症状、病気が理学療法に適応するかどうかを鑑別する能力が必要となりました。

#### 4. 理学療法教育で腰痛を学ぶプロセス

腰痛患者の約90%は非特異性腰痛と言われています。そのため、理学療法教育で腰痛を扱う際には、この非特異性腰痛の症状や治療法について深く学ぶ必要があるとされています。

全体のテーマのなかでは、他にも非特異性の頸部痛であったり、ヘルニアなどの特異性腰痛についても学びます。

今回はそのアウトラインをご紹介します

週	週テーマ	授業形態	授業テーマ	概要
第1週	スクリーニングを用いて、患者の症状をa-specific かspecific に分類し、患者にその結論について説明することが出来る。	理論1	解剖「脊椎の骨学」	脊椎の解剖
		理論2	病理学「兆候と症状」	Specific/a-specific な腰痛について
		理論3	腰部のトリアージ	Specific/a-specific な腰痛の鑑別について
		実技1	バッドニューストーク	患者にとって悪い結果を伝える際のコミュニケーション方法について
		実技2	評価技能	腰部の自動・受動検査と骨盤の疼痛誘発テストについて
		実技3	評価技能	腰椎と骨盤の視診・触診について
		実技4	スクリーニングテスト	腰部の神経症状誘発テストについて
		まとめ	スクリーニングの実践	症例を用いて初期のスクリーニングを行う
第2週	医師から理学療法士への「紹介」における患者に関連する情報を確認し、問診(Anamnesis)でさらに関連する情報を集めることが出来る。	理論1	解剖「骨盤の骨学」	骨盤椎間関節
		理論2	病理学「腰部と手術介入」	腰部の疾患と手術的介入について
		理論3	心理学	疾患に対応する振る舞い
		実技1	コミュニケーション	物語的な会話方法について
		実技2	評価技能	腰部の自動・受動検査と骨盤の疼痛誘発テストについて
		実技3	評価技能	頸椎・胸椎・胸郭の視診・触診
		実技4	治療手技	関節モビライゼーション
		まとめ	問診	問診から初期仮説を絞り込む
第3週	問題のある動きの観察・評価のデモンストレーションができ、一般的な動作の評価を用いて、動きの問題を明確に述べる事が出来る。	理論1	解剖「体幹の筋肉」	腹筋群・背筋群
		理論2	インスタビリティ	腰部のインスタビリティと運動器障害
		理論3	ガイドライン	腰痛のガイドラインについて
		実技1	コミュニケーション	振る舞いとイエローフラッグ
		実技2	評価・治療技能	筋の拘縮の評価と治療
		実技3	運動指導	腰部の筋のコーディネーション評価と改善
		実技4	治療手技	腰部のモビライゼーション
		まとめ	評価	評価プランの作成と実行、患者への説明の実践
第4週	ヘルニアに対する知識をもって、ヘルニア手術後の患者に説明と運動指導を行うことができる。	理論1	解剖	神経と循環
		理論2	妊娠と腰痛	妊娠に関連した腰部痛について
		理論3	ヘルニア手術後の対応	ヘルニアに対するガイドラインについて
		実技1	学習プロセスの自己フィードバック	理学療法士としての自分の長所と短所を整理する
		実技2	胸部の評価	腰部のスタビリティ改善のための運動指導
		実技3	運動指導	腰部のスタビリティ改善のための運動指導
		実技4	治療手技	胸部の関節モビライゼーション
		まとめ	運動指導	ヘルニア術後患者への対応と運動指導

図1 学習カリキュラム